

# 令和5年度第1回 熊本市立野外教育施設運営協議会会議録要旨

## I 開催日時

令和5年5月18日（火）午前9時30分～11時30分

## II 開催場所

熊本市国際交流会館 3階国際会議室

## III 出席者

### 【委員】

大西 康伸 委員（熊本大学大学院 先端科学研究部教授）  
池田 由美 委員（熊本市立田迎南小学校校長、熊本市教科等研究会）  
内田 淑子 委員（熊本県キャンプ協会 理事）  
本田 奈緒子委員（熊本YMCA 御船町スポーツセンター所長） 議長  
山本 一郎 委員（熊本市子ども会育成協議会 会長）  
西村 一弘 委員（芳野校区自治会連合会 会長）  
鱸 和昭 委員（河内校区自治協議会 事務局長）  
下大迫伸一 委員（熊本森林管理署 森林技術指導官）  
荒川 紀代子委員（社会教育士、野外活動指導者）  
清田 晃子 委員（熊本市PTA協議会常任理事）（欠席）

### 【事務局】

原口 琢哉（地域教育推進課長）  
小原 恵二（地域教育推進課課長補佐）  
寺崎 真治（地域教育推進課主査）  
神田 夏彦（地域教育推進課参事）  
坂田 蘭子（地域教育推進課参事）  
株式会社九州経済研究所  
金峰山ビレッジ株式会社

## IV 会次第

- 1 開会
- 2 地域教育推進課長挨拶
- 3 新委員紹介
- 4 事務局職員紹介
- 5 議長挨拶
- 6 金峰山少年自然の家新施設整備運営事業について
  - (1) これまでの経緯について
  - (2) 基本設計について
  - (3) 今後のスケジュールについて
- 7 その他

## 1 開会

(司会) ただ今より、令和5年度第1回熊本市立野外教育施設運営協議会を開催します。  
開会にあたりまして、原口地域教育推進課長によりご挨拶申し上げます。

(課長) 皆様、おはようございます。このたび、教育委員会の組織改編に伴いまして、地域教育推進課課長を拝命いたしました原口でございます。開会にあたりまして一言ご挨拶をさせていただきます。

委員の皆様におかれましては、大変ご多用の中、本会議に御出席を賜りまして、誠にありがとうございます。また、本日は、事業者の金峰山ビレッジ関係者の皆様、並びに熊本大学の大西先生のゼミ生の方々にも御出席を賜りまして、重ねて感謝を申し上げます。

さて、この後担当のほうから詳しく説明があるとは思いますが、本年度の4月下旬から、解体工事が始まりまして、来年はいよいよ建築、建設工事が始まります。そして、令和7年度には、新たな野外教育施設の運用が本格的に開始されるという運びになります。

新施設の完成につきましては、熊本市の小学生だけではなく、学校関係者、教育委員会、地元住民の皆様をはじめ、熊本市民の皆様が大変期待を込めて、完成を待ちわびていらっしゃるのではないかとこのように考えております。

私自身も、本課に参りまして、これまでの議事録及び計画等を拝見させていただく中で、このミッションに携わってくださった方々の、より良い施設にしたいという熱い思いを、議事録及び計画表からかいま見ることが出来、本当に私自身も心が熱くなるような思いになりました。

この協議会の位置づけでございます。実際の運用は令和7年度にはなりますが、前年度の令和6年度には実際に募集をかけたり、または運用のプログラムも大方固まってないといけないと思えますと、本年度のこの会議におきまして様々なご意見等が来年度以降のいろんな柱になってくるのではないかと思います。

つきましては、本日、これまで以上に熱い議論をしていただきまして、ご意見をいただきますと、そういったより良い施設にされたのではないかとこのように思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

子どもたちをはじめ、市民の皆様が自然に親しみ、そして学び、遊び、考える自然体験の拠点施設となりますように、さらなるご尽力をいただきますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。今日はよろしくお願いいたします。

(司会) 続きまして、新委員の紹介をさせていただきます。

このたび、松岡委員の辞任に伴い、新たに田迎南小学校長の池田由美様に委員にご就任いただきました。どうぞよろしく申し上げます。

(池田委員) どうぞよろしくいたします。

(司会) 続きまして、令和5年度の人事異動により、事務局職員を紹介させていただきます。  
(課長以下職員紹介)

続きまして、本協議会の成立についてご報告いたします。本日は、清田委員より欠席のご連絡をいただいております、委員10名中9名の出席です。よって、本協議会運営要綱第4条第2項に基づき、本日の協議会が成立していることをご報告いたします。

それでは、ただ今から協議に入ります。

議長の本田委員から、ご挨拶をいただき、議事進行をよろしくお願い申し上げます。

(議長)皆様おはようございます。本田奈緒子でございます。本日はこのような会合を開催いただきありがとうございます。

前回、私たちがこの場で、活発な意見交換をさせていただき、そのことを踏まえて、これまでに多くの議論や、密な準備を進めていただきこの会を開催していただきましたことを、担当の皆様からも説明を受けております。本当にありがとうございます。

本日は、映像なども使って、新たなものも見せていただけるということで、とても楽しみにしております。

先ほど原口課長からもございましたように、この会がこれからの運用に向けた活発な意見交換の場になるように、ぜひ、委員の皆様方も積極的にご意見をいただき、この場を活性化していただければというふうに思っております。

各委員の皆様にはぜひそのようなこともございますので、どうぞご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、本日の次第に沿って会議を進めてまいります。まず、金峰山少年自然の家新施設整理運営事業について、これまでの経緯について事務局に説明をお願いいたします。

(事務局)金峰山少年自然の家新施設整備運営事業資料に沿ってこれまでの経緯を説明

(議長)ありがとうございます。ただ今の説明についてご質問、ご意見等はございませんでしょうか。ご質問、ご意見等のある方は挙手にてお願いいたします。

よろしいでしょうか。なければ、次の協議に移ってまいりたいと思います。基本計画について事務局に説明をお願いいたします。

(事務局)それでは協議2の基本設計についてです。先ほど申しましたように、本年1月から、地元の皆様をはじめ関係団体の皆様への事業計画説明会を開催し、様々なご意見、ご要望等をお聞きしながら、本格的に基本設計に着手して、先月基本設計の報告をいただいたところでございます。

本日はこの基本設計をもとに、大西委員、熊本大学院生のご協力をいただきまして、宿泊棟等のVRモデルを作成していただいておりますので、まず、VRにて施設のイメージを体感していただきたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(議長)ありがとうございます。ただ今、事務局から説明がありましたように、新施設の宿泊棟などの整備イメージについて、ご覧いただきたいと思います。

進行を大西委員お願い出来ますでしょうか。

(委員) はい。よろしく申し上げます。

皆さんのお手元にファイルがありまして、ここの図面がたくさん入ってるんですけども、なかなかイメージが出来ないんじゃないかと思いました。

私自身もなかなかこれ見てわからないところもありまして、研究室で一度VRを作ってみようと、そうすると色んなところがわかってきて、私もこのような場所になっているという所が多々見えましたので、まずはそれを私だけで体験するのではなくて、皆さんにご体験いただき、この図面からは分からないような事を見ていただいて、それでご議論いただきたいと思います。

これはきっかけといいますか、この事業の建築建物をより良く理解するという入口と捉えていただければと思っております。

(委員によるVR体験)

(議長) ありがとうございます。

ここで、新施設の基本設計や整備、運営面についてご質問、ご意見をいただきたいと思えます。今見ていただきましたものも含めまして、ぜひこの時間は活発に意見交換ができればと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

ご意見、ご質問等ございませんか。いかがでしょうか。

(委員) 高校で養護教諭をしています。畳の部屋がありますが、普通の和の畳ですか。学校のほうでも、保健室とか、ちょっとしたところに畳がありますが、毎年ダニ検査をするとかなりダニが出てきてですね。結構子どもたちは過敏なのでそこら辺の対応はどうなるのか。次に、ベッドのところ、しっかり区画してなかったのも、それは身長差に対応出来ていいなと思いました。これまで一つ一つベッドになっていたのも、背の高い子に入れなくて床に寝たりしてんですけど。頭のほうに区切りがないので、それはとてもいいなと思いました。ただ手前のほうが、座るにはちょうど良いですけど、寝ていて転げ落ちるかなと少し不安がありました。

(事務局) ご意見も含めてありがとうございます。和室の畳については、金峰山ビレッジさんのほうで、どのような仕様にするのかは、最終的に調整をさせていただいているところです。衛生面であったり、汚れ対応とか先ほどおっしゃいました、ダニの対応等もあります。

今のところビニール畳、市教育委員会としては、ぜひイ草をとという要望も出していますが、多くの利用者の皆様の衛生面など、そういうところも踏まえて、SPC内で協議をさせていただいているところでございます。

当然、維持管理面は非常に大事ですが、そこを重点的に考えていただいているところです。

ベッドについても、ご覧いただいたようなところで今計画をされているところでございますけれども、あとは最終的な1階と2階部分の高さであったり、はしごの位置であったり、また、物が落ちない、人が落ちるのも当然避けなければなりません。そういうところも、しっかり今、実施設計に向けて調整をさせていただいているところでございます。

(議長) ありがとうございます。そのほかご意見、ご質問お願いいたします。

(委員) 換気機能はどうなってますでしょうか。

地元の小学校を建設するときに一級建築士の議員が居たんすけども、換気を入れてなかったんで、すぐやり直して換気を設置をされました。

部屋で、子どもたちが熟睡するところで暑かった。引率者はいつも子どもたちの様子を見に行かなければならず、その時ものすごく暑かったんです。その換気の方を設計の方に取り入れてもらいたいと思います。

(事務局) ありがとうございます。金峰山周辺の自然豊かな、おいしい空気もいっぱい吸っていただきたいし、感染対策も含めて非常に重要なポイントだろうというふうに認識しております。事業者さんから上がってきた提案書の中でも、この換気に非常に力を入れていらっしゃいます。

具体的には、環境デザイン研究所さん、また、産絃設計さんのほうからご説明していただくとうかがいます。よろしく申し上げます。

(金峰山ビレッジ) 環境デザイン研究所の設計担当の者です。本日はよろしく申し上げます。

宿泊棟の換気については、まず2つ考えられます。一つは自然換気といって、窓を開けていただくという換気が考えられて、VRの画像を見ていただくとわかりますが、かなり窓は多めにしています。ですと、あまり暑くもなく、寒くもないのであれば、窓を開けていただくのがいいのかなと思っております。

ただ、機械換気も当然見込んでおりまして、法的には24時間換気というのはどうしても必要になってきます。

それに必要な一定の換気量は確保しています。床面積に対して一定の換気量が求められ、必要になってきます。その通常換気量の1.5倍程度の換気量は確保して感染症対策にも対応するというような計画としています。内容としてはこのような考えでよろしかったでしょうか。

(委員) 虫に弱い人がいるので、うかつに窓を開けることが出来ないという。それだから換気がないと、汗かくところじゃないですからですね。寝室になりますから、特によろしくお願いいたします。

(議長) ありがとうございます。私も実は金峰山の下の方に住んでいるんですけども、やはり地形の問題ですとか、風向きですとか季節ごとにかなり違ってまいりますので、ぜひ、現地の方とのコミュニケーションをとっていただいて、換気に関しては、どちらから風を入れたら夏は涼しいとか、どちらかを閉めたら冬暖かいとか、ぜひそういう自然の地形を生かして配慮していただければ、良いかなというふうに私は感じました。ありがとうございます。

(議長) それでは、そのほか皆様方からご意見、ご質問等ございませんか。先ほど見ていただきましたので、また実はここを見たいとか、あとは見た感想ですとか、是非活発にご意見いただければと思います。それでは委員いかがでしょうか。

(委員) 私が見た部屋は、思っていたより入ってみると、そんなに広くはなかったなとは思ったんですけど、8人ですかね。子どもが寝るのが。木目で明るくてとても気持ちがいいなあと思いました。

部屋にトイレもシャワーもありますね。これから多様性に対応しなきゃいけない部分も出てきたりするんですけども、そういった意味でとてもいいなというふうに思ったところですよ。

あとは浴場のほうを見ることが出来なかったんですけども、経験のある職員に聞くとお風呂は広いほうがいいって話していたので、そういったところを考慮していただけたらなと思ったところでした。

これまで集団宿泊教室では、よくベッドの上から落ちて怪我をするっていう子どもたちが多かったんですよ。これだと、結構上のベッドの高さがあってそれを乗り越えるとなるとやっぱり上にも当たってしまいそうな感じで、そこを乗り越えて落ちるとか、その間からとかいうのはそうないのかなと思ったんですけど、あとは、学校側の指導っていうことになっていくんですけども、そういった点も配慮していただいているのかなと感じたところでした。

(議長) ありがとうございます。

それでは順番に見ていただいた感想も含めて、ぜひご意見をいただければと思います。

(委員) なかなか良い施設が出来ているなという感じがしました。

(議長) ありがとうございます。それでは、委員からお願いいたします。

(委員) 2段ベッドがあるじゃないですか。外側に屋根が斜めになって大きい柱があるが何m位あるんですか。子どもが立って頭には当たらないんですよね。2階の窓際の方なんですけど。

(金峰山ビレッジ) 屋根が下がった所の一番低い所の二段ベッドの高さはどれ位かとの質問でよろしいですか。今、熊本市とその辺りを調整していますが、極力1m程度は確保しようというところで検討を進めています。

(鑑委員) 子どもの頭が当たらないといいんですけども、絶対、走ったりすると思うんです。その安全性をよろしくお願いします。

(議長) ありがとうございます。委員お願いいたします。

(委員) 施設については、大変立派なものができるんだなっていうようなことを感じたんですけども、先ほどの報告の質問でもいいですか。

小中学校に対するワークショップの中で、国有林の中をキャンプ場として利用したいというような声があったという話だったんですけども、森林ですのでキャンプ場として使用ということになれば、火気の利用であったり、色んなリスクがあったり、そういう要望に対して今の時点でこういう答えをしていこうとかいう部分があるとすれば回答をお願いします。

(事務局) 事務局から今の状況をご案内させていただきますと、確かに子どもたちの意見では、自然の家自体の敷地がやはり限りがありますから、広い金峰山一帯を自然体験学習の場所として使いたいという思いだろうと思います。

実際子どもたちも国有林の中をウォーキングやナイトハイクしたり、楽しませていただいておりますし、以前は、遊々の森協定の中でふれあいテントサイトということで、一部敷地を主催事業で使わせていただいた時期もあったと思いますけれども、1番心配なのは、実際活動はさせていただくんですけども、テントを張って寝るとなると、昨今イノシシがかなり金峰山一帯出ていますので、そのあたりは厳しい面はあるのかなというふうに思っています。

当然、自然に親しむ活動の中で日中の活動、またはナイトハイク等の使い方かなと思っておりますので、今後、森林管理署様と一緒に、どういう活動プログラムを広げていけるのか、その辺も色々のご相談をさせていただきたいというふうに思っているところです。

(議長) ありがとうございます。そのほか皆様方からお願いいたします。

(委員) 細かいところなんですけど、さっきの宿泊棟の画像を出していただいてよろしいですか。二段ベッドのところなんですけど、小学生もなんですけど、多分ファミリーとかも対象に入ってくると思います。その際、2段ベッドの上の柵ですね、多分その隙間から転倒すると思うんですよ。なので、小さい子どもさんも利用するというところの点から、もうちょっと細かい隙間を狭くしたりとか、柵の数を増やしたほうがいいんじゃないのかなというふうに思いました。

あと、先ほど実際VR体験して思ったのが、2段ベッドの上に上がる階段ですね、これが垂直なんです。なので、多分小学校は5年生が対象ですけども、それ以外の子どもたちが利用するときにはちょっと怖いか。なので少し傾斜をつけて、少し緩い傾斜をつけて階段上りやすくするとか、そういった工夫があってもいいのかなっていうふうに思いました。この垂直を登っていくのも経験かもしれませんが、思ったよりもこう真っすぐ上っていかなきゃいけない。登るときは良いが降りるときがちょっと怖いかっていう気がしましたので、少し傾斜をつけていただけるといいのかなというふうに思いました。細かいところなんですけど、柵がいろんなところ出てきますけども、幅が大きいのかなというふうに感じました。

(委員) 2段ベッドの柵を細かくしていただくと、そこから落ちないっていうのがいいんだというふうには思います。階段が斜めになると下のフロアの部分に出てしまいますね。

そこに、場所をとるとそこにひっかかってけがをするっていう、そちらの心配がちょっ

と。私は垂直のほうが何かこう、安全面からどんなのかで場所もとらずにそう危なくはないかなというふうには思ったところでした。

(議長) ありがとうございます。様々ご意見いただきました。事業者の施工設計の視点から何かご回答いただければと思いますが、いかがでございますでしょうか。

(金峰山ビレッジ) 2段ベッドの2段目の手すりの件は確かに細かくするという案もありますので、そこも含めて今後検討していきます。実はロフトの手すりが格子手すり、2段ベッドの手すりはちょっとラフな手すり、チグハグなところもあります。そのあたりは熊本市さん、先生と相談して検討を進めさせていただこうと思っています。

あと、ハシゴについては、確かにこれ一長一短あり、垂直にすると下のスペース取れる、斜めにしてしまうと、下のスペースがとられてしまうと言う課題もあります。

今回、宿泊室も決して広い宿泊室でない中で、垂直でハシゴの最大の高さ1.6m程度ぐらい、2段ベッドのトップの高さを想定していますが、その程度であれば、垂直でもいけるのではないかと考えています。高さとの関係も踏まえて、熊本市産も含めて継続して相談していきたいと思っています。

(議長) ありがとうございます。そのほか皆様方からございませんか。

(委員) 窓の位置ですけど、2階のほうをロフトから見ると10cmぐらいしかなくて外が見えないし、窓口の位置がもう少し上なら上にならないかと思いました。

屋根裏部屋っぽい感じに2階はなるので、せっかくこう斜めになって、雰囲気が良いので星を見るというか外が眺められたらいいなと思ったんですけど、あれはちょっと真ん中あたりにくる感じですか。

(金峰山ビレッジ) VRのほうで、ロフト側を見せていただけますか。

確かにおっしゃるとおり2段ベッドわきの窓は、どうしても高さが中途半端。左側見ていただくとこっちに窓がある。どちらか言えば、小屋裏的な空間はこちらでとってあげて、外を感じられるというふうには考えていました。

ロフトは屋根裏部屋的なところで、ここで外を見ながら、皆さんでカードゲームをしたりとか、そういった感じで外を感じられる場所を作ってあげて、寝るときはベッドで寝てもらおうというふうな使い勝手でどうかなというふうに考えておりました。

(議長) ありがとうございます。ロフトからはどこから入ることができるのでしょうか。

(金峰山ビレッジ) ロフトからのハシゴは2か所。ロフトに直接行くハシゴとベッド経由でロフトに行くルートがあるという計画です。2階の床からロフトに行くルートは2か所あります。

(議長) 他に、ご質問、ご意見ございませんか。

(委員) 結構きれいな木材が利用されているんだなというふうに思うわけですがけれども、国産材を利用した施設なのか、県産材とか色々あるんですけども、そこあたりがある程度分かるのであれば、ご回答をお願いしたいと思います。

(事務局) 詳しくは、金峰山ビレッジさんのほうからお話あるかもしれませんが、提案書、又、今打合せをさせていただいている材料につきましては、県産を主体とした木造、杉とかですね、そういうところをなるべく地元の素晴らしい木々を使って建築をするということも、環境教育の一環にも非常につながるかなと思っております。

(議長) ありがとうございます。そのほか皆様方からご質問、ご意見ございますか。

(委員) 真ん中に階段があるんですけど、それで両端っていうか今、すてきなロフトが向こうにあるっていうのを見ました。そうすると下の子が上がるときに、上の子を踏んでいけないといけない。一番端っこの方に階段があると、真ん中でなく端っこのほうがいいかなと思いました。

(金峰山ビレッジ) 検討してみます。

(議長) ありがとうございます。そのほか皆様方から、ぜひまだ時間ございますので自由に意見交換をしていただければと思います。

(委員) 今、ロフトと2段ベッドのお話がたくさん出ていまして、これから検討していただけるということでよろしくお願いします。

ただ、泊まっている人が安全かどうかだけでなく、移動するということが伴うので、ハシゴを上がって2段ベッドの2段目に上がる人の安全性とか、そこから降りるときの安全性とか、あとはベッドを移動するときの安全性みたいなのも、検討が必要なのかなと思っています。

例えば、天井に当たったときに、それほど大怪我にならないように、角が出ているので、その辺りのことも、後で対策をすると色んなものがついてくると思うので、クッションだとか、できる限り初めから想定をしていただきたいなという、これ見て気づいたんですが、階段、ハシゴはこれからだと思いますが、四角いハシゴでちょっと握りにくさがあるかもしれないし、あとは靴下を履いて昇り降りするとき、特に降りるときに滑らないとか、それは今後検討されるかと思うんですけども、たくさんハシゴが一つの部屋についていますので、その辺りの上下の移動みたいな、安全にできるようなやり方、やり方というか仕様を検討いただきたいと思います。

(議長) ありがとうございます。その他皆様方から、ぜひ様々なご意見やご要望やご質問などいただきたいんですが、いかがでございますか。

私から1点、テントサイトを見せていただいたんですが、とても立派な、今はやりのグランピングのような、非常に大きなテントがありますけれども、そのテントサイトを利用されている方、前回の会議でも出たかと思いますが、その方のプライベートな時間ですとか、プライバシーの問題だとかその辺り、上から見られる、もしくは逆に見上げたときに、向いの方たちと目が合わないと思いますけれども、活動している方たちの様子が見えるとか、その辺りの部分もちょっと配慮する必要があるのかなというふうに思いました。

ここに、柵はつけていただいているのですが、目隠しの木を植えるとか、今後の見通しとか、そういうものが今の段階であるのであれば、教えていただきたいと思います。

(金峰山ビレッジ) 全体の植栽計画を調整することで、極力テントサイト部分のプライバシーに配慮した計画をしていこうと検討を進めている状況です。

具体的には、真ん中のテントサイトの上側の宿泊棟 A との間の部分については、生垣を1.8mから2mぐらいの高さで植えて、視線を遮るというのを一つ対策として検討しています。

宿泊棟 B との間については、そこは先ほど見ていただいた2階のロフトからの視線ですので、決して直接的、宿泊室程頻繁には見られないと思っています。かつ、南側のほうですね。緑の景観が広がっているのでもそこは見えるようにしてあげた方が良く考えています。

樹木をある程度植えてあげて、その樹木によって極力視線を遮るといような対応は出来ないかと検討を進めています。

(議長) ありがとうございます。多分、現場を見ていただきながら対応が必要になってくるかなと思いますので、是非よろしくお願いします。

そのほか皆様方から、ご意見、ご質問などございませんか。

(委員) 今のテントは、こちらの方向の方に向かって開き出入りするのですか？

(金峰山ビレッジ) 質問を正確に確認させてください。テントの出入口の質問ですか。

テントサイトへの入口は三角形の方です。ここから入ることを考えています。質問の答えになっていますか。

(委員) サイトの入口ではなくて、テントの中に入る部分。

(金峰山ビレッジ) それは、どちらの向きでも対応可能です。そこまでは正確に考えてないのですが。

(事務局) 事務局からお答します。テントの設営については、運営事業者のほうでそのときの風の状況であったり、テントの仕様辺りを含めて、設置できるかなというふうに思います。最初から入口は、南と北側ですよということではなくて、金峰山も風がかなり吹きますので、

その辺は運営のほうで、しっかりと安全面、又、先ほどおっしゃったプライバシー保護の観点から入口を設置できるものと思います。

テントは常設テントではございますが、利用者がしばらく無かったり、または台風とかというときは、撤去ができるようなテントと考えていらっしゃるというふうにお聞きしています。

(委員) あと2つですけど、1つはツリーハウスですが、ツリーハウスぽくなかった。それはもう少し木とかを使ったりとかあるんですか。さっきVRを見たときにツリー感が無かった。タワーの途中のツリーハウス2か所、この設計の中ではもっとツリー感がある感じになっていたんですけど、実際はそれよりもツリー感が出るのですか。

もう1つ、ボルダリングですけど、これは大体何歳ぐらいの使用を想定されてるのか。高校生とかでもちょっと楽しめるようなのか、本当に幼稚園児がさわるぐらいのものしかないのかなと思ったんですけど。その2点をお願いします。

(金峰山ビレッジ) ツリーハウスについては検討します。

あと、ボルダリングはかなり低いレベルで2m弱ぐらいの高さで、本格的なボルダリングというよりは、ワイルドタワー全体がある種の子どもの遊び場として機能するように考えていますので、移動の手段としてボルダリングを設けている考え方で計画しています。どれぐらいの世代かという質問については、幼児から登れる仕様というか計画になっています。

(委員) 昔公園とかにありましたよね。あと横にロープが付いているロープを引っ張って登るとか。そのような感じですか。移動手段ということですね。わかりました。

(議長) ありがとうございます。そのほか皆様方、いかがですか。

今、ワイルドタワーの質問がございましたが、全体的な経過を見たときにやはり木の色とか木の風合いとか、そういうものがとても活かされた施設だなというふうに思いますので、そこに合わせるような風合いにさせていただけると、違ってくるのかなという印象と、滑り台が何となくこの木を活かしたものに、私はちょっとだけ違和感を感じてしまいましたので滑り台が本当に必要かどうかとかですね、また皆様方のご意見をいただきながらぜひ、協議ができればなというふうに思ったところです。感想でございました。

ほかにございませんでしょうか。よろしいですか。

それでは、大西委員、熊本大学院の皆様ありがとうございます。素晴らしいものを見せていただいて、現実的に私たちも体感することが出来て本当によかったと思います。

それでは、協議3に移りたいと思います。今後のスケジュールについて、事務局に説明をお願いいたします。

(事務局説明) 今後のスケジュールについて、資料に沿って説明。

(令和5年度第2回協議会開催予定を7月下旬から8月に修正)

(議長) ありがとうございます。ただ今の説明について、ご質問、ご意見等ございませんでしょうか。来年の1月に開催予定であった会議が、7月下旬から8月ということでございますのでぜひ心掛けていただければと思います。

本日の会の終了までは少しお時間がございますので、せっかく今日は実際に来ていただきました方々もいらっしゃると思いますので、ぜひ補足や、今の進捗状況も含めまして少しお話いただければと思いますが、急で申し訳ございませんがよろしいでしょうか。事業者の方からよろしく願いたいします。

(金峰山ビレッジ) 金峰山ビレッジの三津野建設です。よろしく願います。本日はありがとうございます。

進捗関係の説明があったように、解体工事関係を今進めております。その後、実施工程関係について順次移っていきます。皆様のご意見をいただき、それを反映させながら、一生懸命良い建物になるように努力してまいります。今後ともご指導よろしく願います。

(議長) ありがとうございます。何かございますか。もしよろしければ、せっかくご出席いただいておりますので、よろしく願いたいします。

(金峰山ビレッジ) 熊本の産紘設計です。本日は貴重なお時間をいただきありがとうございました。環境デザインさんのほうが計画で、こちらは地元の各種条例とか警察、熊本市と色んな協議をしながら進めてまいります。今後ともご協力のほど、お願いしたいと思います。よろしく願います。

(議長) ありがとうございます。皆様方からご感想ですとか、今後に向けたご要望ですとか、ございませんか。委員の皆様から、いかがでしょうか。

それでは少しお時間早いですけれども、これで協議を終了したいと思います。委員の皆様のご協力ありがとうございました。活発な意見交換が出来たと思います。会の進行を司会にお返しいたします。

(司会) それでは本田議長、委員の皆様、長時間にわたり熱心なご協議ありがとうございました。最後に委員の皆様から、何かございますでしょうか。

(委員) 金峰山自然の家のサブネームは、ちょっと硬いので、何かサブネームみたいなものがあるといいなと思っていたんですが、そこら辺は検討されてますか。

(事務局) 条例による正式名称は、熊本市立金峰山自然の家でございます。おっしゃるように、多くの子どもたち、市民の皆さんに親しまれるように、愛称を募集をしたいと思っています。

時期については、荒川委員とも先日お会いしたとき、お話しさせていただいたんですけれども、オープン前に愛称を募集しようと思ってたんですけれども、実際使っていたいただいた利用者の皆さんの感想も含めて、ネーミングを考えていただいたほうが、多くのご意見が出る

のかなというふうに思っています。その辺りで今、検討させていただいているところです。

おっしゃるように愛称をぜひ募集して、またこの協議会で選考していただければと思っています。また、金峰山ビレッジさんとお話をしながら、その進め方はしっかりやっていきたいと思えます。

(委員) 新しいこの施設は、市民の皆様も使われるということですが、集団宿泊教室、5年生は、これまで、規律、協同、友愛、奉仕、この四つの精神を皆で育てましょうということで、体育館とか多目的ホールとかに召してあったんですが、その精神というかそういうのは残っていくんでしょうか。それとも、もうなくなってしまおうんでしょうか。

(事務局) 施設は新たに生まれ変わりますけれども、やはり子どもたちを中心に集団宿泊教室、また質の高い学びの場、自然体験をする場になりますので、非常に重要な規律、協同、奉仕、感謝の気持ちなど。今、体育館に大江小学校の校長先生が、数年前ですけども、書いていただいたものを、きちんととっております。そういうふうに、子どもたちにも、また皆さんにも利用者の方にも、目が届くところにちゃんと掲げながら、継続してやりたいと思っています。

(委員) さっきから熊本市民と言われているんですけど、県内の方も利用出来るのですか。あと他県の方もできるんですね。その場合、例えば金額が変わるとか、そんなことがあるのかなと思いました。

(事務局) 市立の施設ではございます。利用者に、優先順位を定めたいというふうに思っております。優先順位については条例にて規則で定めるとしておりますので、教育委員会内で、検討するとともに、実際運営をいただく、金峰山ビレッジさんとも打合せをしながらしたいと思えます。

まず、第1優先は小学校5年生の集団宿泊教室を優先的に調整させて入れていただく。具体的には令和7年の4月供用開始ですので、令和6年の1学期あたりに希望調査をかせせていただいて夏休み調整、2学期の早い段階に利用日の決定をして、その空きの長期休業期間中であつたり、ゴールデンウィーク、土日祝日等をどういう順位で予約受付するのかというのを決めていきたいと考えております。青少年団体であつたり、地元の皆様、市民の皆様ということです。

またご質問がありましたように、県外の方にも、この素晴らしい熊本・金峰山周辺の自然を満喫していただきたいということで、運営事業者さんともまた協議しなければならないのですが、例えば、県外からまた海外から熊本に観光に来られて、熊本には豊かな自然・農業・産業等がありますので、1泊は自然の家に泊まってもらおうとか、そういう連携もぜひやって、またまちづくりにもつなげられるようにやっていきたい。広く多くの方々にご利用いただける施設、親しまれる施設になるように協力していきたいと思えます。

(事務局) ハシゴの話が出たと思えます。上の柵の話も出ていて、小学生は大丈夫としても小さい子どもさんは落ちるのではないかと言う話。

我が家に3段ベッドがあり、ハンゴは直角なんですけど、実際、下にちょっと物があれば、1歳4か月の娘も登れます。楽しくて、階段が遊び場となってしまって、気づけば登ってるということがあったので、はしごの1段目までの高さを少し高くしていただく。あんまり低いと小さい子は本当に上るんです。1歳の娘が登ってびっくりしたみたいな感じでありませう。はしごの1段目までの高さを少し高くして、言ってわからない子どもが登れないような高さにしていただく、又は間隔を少し開けていただく。それでないとやはり、お母様たちとか、ご家族の方が目を離されたときに、小さい子が登って、やっぱり転落という事故があるかなと思いますので、そこは設計をお願いしたいと感じました。

(司会) そのほか何かございますでしょうか。

(委員) 先ほど、事務局から言われましたけど、優先順位。全国大会、九州大会、県大会、地方大会、全国大会とか全国から来られる。そういう方を先に入れてもらう。今度うちが8月に指定都市の大会をしますけども、優先順位を間違ってもらおうと。

第3希望だったのですが、それでも埋まってるんですけど、そういうのをしっかり調べてもらってから、やはり県外から来る人は楽しみにしている。

木造の宿泊棟に入られる。よそに行っても鉄筋コンクリートの自然の家がほとんどです。木造の熊本県産を使ってもらえますけども、そういう木造の中での生活、そういうところを見てもらうためには、優先順位とか、受入れに対する考えはございましょうか。

(事務局) ありがとうございます。委員がおっしゃるように、全国から熊本を代表する大自然、金峰山周辺の地域を知っていただく、自然を満喫していただくためにも、多くの方々に来ていただきたいし、運営面でも、大規模な団体さんを受入れたいというふうに思いますので、優先順位につきましては、委員の意見も踏まえながらしっかり検討していきたいと思っます。

(司会) ほかにございますでしょうか。

それでは、これもちまして、第1回運営協議会を閉会いたします。